

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	夜間小児救急医療確保事業			会計	款	項	目	大	小
				01	04	01	03	02	51
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	伊原 理香				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	夜間の小児緊急患者	意図	市内の医療機関が診察していない時間帯を補うことで、安心して診療を受けられるようにする。
事業内容	市内病院に、平日夜間診療所の業務終了後の夜間小児の救急医療を確保するため、夜間の救急体制を整備する病院に対し、補助を行っていくものである。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度からの事業であり、多くの市民が利用している。 対象病院は、東葛病院・千葉愛友会記念病院であったが、千葉愛友会記念病院については、小児科医の確保が出来なくなったため、25年度で終了となった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	利用者数	1,029	1,126	1,098	人	↑↑↑	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,025,000	7,766,500	8,931,200				
事業費(b)(円)		6,272,000	7,080,000	8,260,000				
うち一般財源		6,272,000	7,080,000	8,260,000				
職員給与費(c)(円)		753,000	686,500	671,200				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					
					コストの削減	A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	医師会・医療機関との調整を図り、市の負担のあり方について検討していく。	③取組の課題	小児医療に対する更なる充実に向け課題の整理が必要。
②今年度(H29)に実施した取組	本事業の維持のため単価及び負担率の見直しについて協議を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	医師会・医療機関と本事業の維持・改善について検討をしていく。